

2022 年度通常総会添付書類

<2022 年度事業報告>

I. 事業の概要

公益社団法人日本ガスタービン学会は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律により認定された公益目的事業（事業番号：公1）「ガスタービン及びエネルギー関連技術の発展とその普及・振興を目的とする事業」を行う。2022年度（2022年3月1日～2023年2月28日）は下記を実施した。

(1) 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第4条1号）

時 期	名 称	内 容	場 所	参加者数	演題数
2022/9/8-9	第34回ガスタービン教育シンポジウム	若手技術者および学生の教育(講義)	(国研)宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター	39名	7
2022/10/11	ガスタービン市民フォーラム2022	「時代に即した航空機エンジン信頼性向上に向けた取り組み」	九州大学伊都キャンパス 稲盛ホール及び Zoom によるオンライン (ハイブリッド開催)	163名	1
2022/10/12-14	第50回日本ガスタービン学会定期講演会・見学会	会員の研究・開発成果の発表, 定期講演会講演論文集発行(180部)	九州大学医学部百年講堂	161名	61
2022/11/8	創立50周年記念行事	「航空機エンジンの発展と今後の動向」「産業用ガスタービン開発と動向」	東京大学 武田ホール及び Zoom によるオンライン (ハイブリッド開催)	188名	2
2022/11/11	2022年度見学会	設備見学および技術懇談会	防衛装備庁 千歳試験場	16名	-
2022/12/14	第10回男女共同参画推進イベント	「ガスタービンに係る業務と働き方を知る」	Zoom によるオンライン開催	33名	-
2023/1/24-25	第51回ガスタービンセミナー	「ガスタービンの最新技術動向および脱炭素社会への展望」 セミナー資料集発行	東京大学 武田ホール及び Zoom によるオンライン (ハイブリッド開催)	117名	9

(2) 学会誌及び学術書の刊行（定款第4条2号）

図 書 名	発行年月日	発行部数
日本ガスタービン学会誌	2022/3/25, 5/20, 7/20, 9/20, 11/18, 2023/1/27	1,990部
International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems	2022/4, 11, 2023/2	Web 掲載

(3) 内外関連学協会との連携並びに協力（定款第4条3号）

2022年度に継続して共催・協賛した行事は38件であり、新規のものは下記の2件である。

種類	開催時期	名 称	場 所	関連団体名
協賛	2022/3/3	第二回溶射講習会	Zoom によるオンライン開催	日本溶射学会
協賛	2022/11/6-10	機械材料・材料加工国際会議 2022 (ICM&P2022)	沖縄県市町村自治会館	日本機械学会

ASME/IGTI が開催する Turbo Expo2022 の展示会に事務局職員を派遣するとともに学会のブースを開設して、情報発信および関連機関との交流を行った。

日本学会協議協力学術研究団体および公益社団法人日本工学会構成団体として学協会共通の諸課題について情報交換を行なった。

(4) ガスタービン及びエネルギー関連技術に関する研究、調査（定款第4条4号）

名 称	実 施 期 間	調 査 内 容
「国産ガスタービン・過給機生産統計（2024年版）」の資料収集および公表	毎年度継続して実施中	我国におけるガスタービン及び過給機の生産統計に関する資料を収集し、纏めると共に、2021年資料を学会誌9月号に掲載した。
ガスタービンを考える会の開催	毎年度継続して実施中	産業用および航空用ガスタービン技術の方向性や戦略について調査検討し、プロジェクト案の策定、実現方策・体制案の検討などを行った。
ガスタービン研究開発プロジェクトに関する調査研究	毎年度継続して実施中	航空用ガスタービンに関する国内共同利用材料データベースの構築のプロジェクトは本年度終了した。その継続プロジェクトである航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業を推進中。
産官学連携に関する調査研究	毎年度継続して実施中	技術開発における産官学連携の現状や課題を調査し、有機的連携やプロジェクト実現の方策を検討した。また、ポストコロナを展望した産官学連携のあり方等を議論した。

(5) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条5号）

若手人材育成のため、第50回日本ガスタービン学会定期講演会において優れた研究発表を行った学生（3名）を表彰（日本ガスタービン学会学生優秀講演賞）した。

名 称	受賞内容 ・ 受賞者
2022 年度日本ガスタービン学会学生優秀講演賞	真部 魁人（九州大学工学府） 「「富岳」を用いた遷音速遠心圧縮機のマイルドサージの大規模 DES 解析」
	河村 栞奈（東京大学大学院） 「圧縮機翼列における空力騒音の特性と低減方法に関する研究」
	加藤 收眞（東京理科大学大学院） 「解像度可変型 MPS 法を用いた金属熔融液滴のデポジション現象の数値的研究」

(6) その他本学会の目的を達するために必要な事業（定款第4条7号）

ホームページからの情報発信の充実化を図るとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる情報発信の強化に努めた。

II. 運営組織の概要

1. 役員・会員・職員

(1) 役員（理事、監事）

2023年2月28日現在

役 名	氏 名	常勤・非常勤	就任年月日	手当	担当業務	所 属
会 長 代表理事	福泉 靖史	非常勤	2021/4/16	なし	業務の総括	三菱重工業(株)

副会長 代表理事	山本 誠	非常勤	2022/4/15	なし	業務の総括	東京理科大学
執行理事	辻田 星歩	非常勤	2021/4/16	なし	法人管理 総務	法政大学
執行理事	黒木 英俊	非常勤	2021/4/16	なし	法人管理 企画（兼務） 公1（3） 表彰・助成	三菱重工業(株)
執行理事	鱈 雅英	非常勤	2022/4/15	なし	法人管理 財務	川崎重工業(株)
執行理事	猪亦 麻子	非常勤	2022/4/15	なし	法人管理 ガバナンス コンプライアンス	東芝エネルギーシステムズ(株)
執行理事	鈴木 雅人	非常勤	2020/4/16	なし	法人管理 国際関係 公1（1） 国際会議（兼務）	(国研)産業技術総合研究所
執行理事	渡邊 裕章	非常勤	2021/4/16	なし	公1（1） 学術講演会	九州大学
執行理事	桂田 健	非常勤	2021/4/16	なし	公1（1） 集会行事	(株)JALエンジニアリング
執行理事	石坂 浩一	非常勤	2021/4/16	なし	公1（1） 集会行事	三菱重工業(株)
執行理事	高橋 徹	非常勤	2021/4/16	なし	公1（1） 技術普及	(一財)電力中央研究所
執行理事	山本 悟	非常勤	2022/4/15	なし	公1（2） 学会誌編集	東北大学
執行理事	渡邊 啓悦	非常勤	2020/4/16	なし	公1（2） 学会誌編集	(株)荏原製作所
執行理事	及部 朋紀	非常勤	2020/4/16	なし	公1（2） 調査研究	防衛装備庁
執行理事	寺本 進	非常勤	2022/4/15	なし	公1（2） 広報	東京大学
理 事	仲俣千由紀	非常勤	2022/4/15	なし	公1（1）	(株)IHI
理 事	清野 幸典	非常勤	2020/4/16	なし	公1（2）	東北電力(株)
理 事	柳内 秀之	非常勤	2022/4/15	なし	公1（2）	(株)本田技術研究所
理 事	藤原 仁志	非常勤	2021/4/16	なし	公1（2）	(国研)宇宙航空研究開発機構
理 事	岩井 裕	非常勤	2021/4/16	なし	公1（2）	京都大学
監 事	今成 邦之	非常勤	2021/4/16	なし	業務監査	(株)IHI
監 事	二村 尚夫	非常勤	2021/4/16	なし	業務監査	(国研)宇宙航空研究開発機構

(2) 会員

会員種別	会 員 数		増減数
	本年度末 2023年2月28日現在	昨年度末 2022年2月28日現在	
正 会 員	1 7 5 5 名	1 8 1 2 名	△ 5 7 名
賛助会員	1 0 7 社 (1 3 7 口)	1 0 5 社 (1 3 7 口)	2 社 (0 口)
学生会員	3 5 名	3 2 名	3 名
終身会員	6 6 名	6 7 名	△ 1 名
名誉会員	4 0 名	4 1 名	△ 1 名

*会員増減数には、定款第11条及び会員に関する規程第15条による「資格喪失者」4名減を含む。

(3) 職員

常勤職員 1名、 嘱託職員 2名 (2023年2月28日現在)

2. 役員会等

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2022/3/15	1) 会員入退会、資格喪失の件 2) 2021年度通常総会および関連行事開催、総会招集通知の件 3) 2021年度通常総会議案の件 4) 2021年度事業報告および附属明細書の件 5) 2021年度計算書類および財産目録の件 6) 2022年度事業計画・予算の件 7) 2022年度理事・委員長候補者の件 8) 規程類改定の件 9) 功労賞、永年賛助会員表彰の件 10) 事務局嘱託職員の給与の件 11) 代表理事・執行理事報告 12) 2021年度監事監査実施報告 13) 各委員会報告、事務局報告 14) 2022年度第1回理事会議事録	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認
2022/4/15	1) 代表理事選定の件 2) 執行理事選定の件 3) 業務分担の件 4) 2022年度第1回臨時理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認
2022/5/27	1) 理事会引継書の件 2) 会員入退会の件 3) 財務状況報告の件 4) 委員会構成の件 5) 内閣府公益認定等委員会への提出書類の件 6) 日本内燃機関連合会会員継続の件 7) 事務局6月度賞与の件 8) 代表理事・執行理事報告 9) 2022年度理事会開催日程報告 10) 各委員会、事務局報告 11) 2022年度第2回理事会議事録	全会一致で承認 全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 了承 全会一致で承認
2022/7/1	1) 会員入退会、賛助会員口数変更の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰候補推薦の件	全会一致で承認/確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認

	5) 代表理事・執行理事報告 6) 各委員会、事務局報告 7) 2022年度第3回理事会議事録	了承 了承 全会一致で承認
2022/9/7	1) 会員入退会、賛助会員口数変更の件 2) 財務状況報告の件 3) 特定費用準備資金計画変更の件 4) 委員会構成の件 5) 創立50周年記念式典の件 6) 他学協会からの行事協賛依頼の件 7) 代表理事・執行理事報告 8) 各委員会、事務局報告 9) 2022年度第4回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 了承 了承 全会一致で承認
2022/11/4	1) 会員入退会の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 日本学術会議「学術の中長期研究戦略」公募への連携依頼 5) 他学協会からの行事協賛依頼の件 6) 代表理事・執行理事報告 7) 各委員会、事務局報告 8) 2022年度第5回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認／了承 了承 了承 全会一致で承認
2022/12/16	1) 会員入退会、会員復帰の件 2) 財務状況報告の件 3) 委員会構成の件 4) 2023年度事業計画の件 5) 2023年度予算案の件 6) 名誉会員候補者、終身会員候補者提案の件 7) IGTC2023Kyoto 参加登録費の件 8) 事務局職員賞与の件 9) 代表理事・執行理事報告 10) 各委員会、事務局報告 11) 2022年度第6回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 継続審議 継続審議 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認
2023/2/15	1) 会員入退会の件 2) 委員構成案 3) 特定費用準備資金の目的外取崩の件 4) 財務状況報告の件 5) 2023年度事業計画の件 6) 2023年度予算の件 7) 2023年度資金調達及び設備投資の見込みについて 8) 2023年度役員候補者推薦の件 9) 事務局職員給与の件 10) 代表理事・執行理事報告 11) 各委員会、事務局報告 12) 2022年度第7回理事会議事録	全会一致で承認／確認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 全会一致で承認 了承 了承 全会一致で承認

(2) 総会

開催月日	議事事項	会議の結果
2022/4/15	公益社団法人 日本ガスタービン学会 2021年度通常総会 第1号議案： 計算書類および財産目録の件 第2号議案： 理事選任の件 第3号議案： 補欠理事選任の件 第4号議案： 終身会員候補者の件	賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認 賛成過半数により承認

3. 各委員会の活動

(1) 倫理規定委員会

委員長 猪亦 麻子 他4名 開催なし

2022 年度において特に倫理規定に関する問題提起や規程の見直し発議はなし。

(2) 自己点検委員会

委員長 猪亦 麻子 他 4 名 開催 1 回 (E-mail による審議)

2022 年度において日本ガスタービン学会が主催した事業について、各事業主体の委員会に自己点検チェックリストに基づく自己点検を依頼し、その結果について確認した。

(3) 運営委員会

委員長 辻田 星歩 他 13 名 開催 7 回

庶務、会計、渉外、その他学会運営に関する事項を担当した。

(4) 企画委員会

委員長 黒木 英俊 他 11 名 開催 0 回

2022 年度は開催なし。

(5) 国際委員会

委員長 谷 直樹 他 12 名 開催 4 回

6 月にロッテルダムで開催された ASME Turbo Expo 2022 に展示ブースを出展した。IAC (International Advisory Committee) のミーティングを ASME Turbo Expo 2022 会期中に開催し、IGTC2023Kyoto についての概要説明を行うとともに、IAC メンバーを通じた参加呼びかけを依頼した。8 月に韓国カンヌンで開催された ACGT2022 では組織委員会のミーティングに参加し、次回の ACGT を 2024 年 11 月頃にインドで開催することを正式に決定した。

(6) アドバイザリー委員会

委員長 田沼 唯士 他 37 名 開催 1 回

2022 年度活動概要、2023 年度事業実施予定およびトピックスとして会員増強に関する前回委員会でのコメントに対する検討状況と IGTC2023 Kyoto の概要説明を受け、主に会員増強に関して学生を含む若手へのアピールについて議論と質疑応答を行った。委員より得られた提言や意見は、運営委員会に報告した。

(7) 学術講演会委員会

委員長 岡本 光司 他 13 名 開催 5 回

第 50 回日本ガスタービン学会定期講演会を九州大学の医学部百年講堂(福岡市)にて対面形式で開催し、見学会(水素エネルギー製品研究試験センター、水素材料先端科学研究センターなど)を実施した。また、ガスタービン市民フォーラム 2022 を九州大学伊都キャンパス稲盛ホールにてハイブリッド形式で開催した。

(8) 集会行事委員会

委員長 桂田 健 他 13 名 開催 6 回

集会行事の企画・実施・資料集発行等を担当した。今年度もコロナ禍は継続したものの十分な感染対策を施したうえで、設備見学および技術懇談会を目的とした見学会、学生および若手技術者を対象とした第 34 回教育シンポジウムを対面形式で実施した。第 51 回ガスタービンセミナーについては「ガスタービンの最新の技術動向および脱炭素社会への展望」をテーマとし、SAF に関するパネルディスカッションも盛り込み、集会行事委員会としては初めてのハイブリッド形式にて実施した。ガスタービン専門分野の講義・講演と技術者同士の交流を目的とした若手技術者交流会は対面形式の交流も主とした行事であることより開催は時期尚早と判断し、次年度へ延期とした。

(9) ガスタービン技術普及委員会

委員長 高橋 徹 他 16 名 開催 10 回

定期講演会と併催するガスタービン市民フォーラムの講師選定し、学術講演委員会に答申した。また、教育シンポジウムの講師を選定し、集会行事委員会に答申した。学会 50 周年として教科書改訂(改訂第二版)の発刊に向け、執筆原稿の確認、校正作業等発行に向けた最終作業を行った。

(10) 学会誌編集委員会

委員長 新聞 良樹 他 27 名 開催 6 回

学会誌の企画・編集・発行に関する事項(特集記事の企画・執筆依頼・校正、各号の編集・発行等)を担当した。特集として、2022年3月「「ガスタービン・航空宇宙分野における Additive Manufacturing 適用の最前線」、2022年5月「ガスタービンを取り巻くデータ活用の広がり データ同化・機械学習・デジタルツイン」、2022年7月「カーボンニュートラルに向けた低温排熱利用技術」、2022年9月「ガスタービン材料開発と保証技術の最新動向」、2022年11月「「2050年脱炭素社会実現に向けた今後のアプローチ」、2023年1月「日本ガスタービン学会創立50周年記念特集(前編)/第50回定期講演会報告」を企画・編集した。また、特集企画以外の記事についても検討し、研究・開発・設計技術者からユーザー各社の技術者まで、幅広い読者に関心を持って頂ける内容となるように努めた。また、50周年記念事業の一環として2023年1月号と3月号に特集を組んだ他、2022年1月号～2023年3月号まで50周年記念ロゴの表紙への掲載、通算100号以降途絶えていた総目次のまとめとHPの掲載に向けた活動を行った。

(11) 論文委員会

委員長 山本 誠 他 13 名 開催 17 回 (内 Editorial Manager 会議 16 回)

学会に投稿された和文及び英文技術論文の査読、電子版英文論文集 International Journal of Gas Turbine, Propulsion and Power Systems (略称 JGPP) の編集・発行を行った。JGPP は Vol. 13, No. 2～3 および Vol. 14, No. 1 の計 3 号が発行された。オンライン投稿・審査システムとして Editorial Manager の利用が定着し、投稿論文の採否も Editorial Manager の Discussion 機能を用いて効率的に行われた。

(12) ガスタービン統計作成委員会

委員長 村田 章 他 8 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2021年の国産ガスタービン及び過給機生産に関する統計資料をまとめ、学会誌2022年9月号(Vol. 50 No. 5)に掲載した。

(13) 産官学連携委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 14 名 開催 1 回

学会の産官学連携促進活動のあり方や将来の方向性について検討した。また、ガスタービン・ジェットエンジンに関する研究開発プログラムの問題点や具体化方策を調査検討し、新たなプロジェクト立案の可能性を討論した。調査研究委員会で実施中のSIP及びNEDOプロジェクトに対して助言を行った。一方、ポストコロナを見据えて地域産業界との懇談会の実施に向けた検討を行った。

(14) 広報委員会

委員長 寺本 進 他 7 名 開催 1 回

関連学会のホームページ・SNS利用状況を参考とし、当学会でのSNS情報発信のあり方について討論した。50周年記念事業実行委員会と連携して、学会誌記事総目次の学会web掲載方法について検討をした。

(15) 表彰委員会

委員長 山本 誠 他 4 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 2 回)

学術講演会委員会と協力して、第50回定期講演会で講演発表した学生優秀講演賞の選定と表彰を行った。また、この定期講演会で研究発表を行う学生の旅費の補助を行った。

(16) 次年度役員候補者等推薦委員会

委員長 山本 誠 他 4 名 開催 2 回 (内 E-mail 会議 2 回)

2023年度に就任する理事・監事ならびに各委員会委員長の候補者の人選を進め、理事会へ推薦を行った。

(17) 終身会員候補者選考委員会

委員長 福泉 靖史 他 4 名 開催 1 回

規定に従って終身会員候補者を選考し、候補者原案を運営委員会に提案した。

(18) 調査研究委員会 (材料データベース調査研究委員会)

委員長 川岸 京子 他 11 名 開催 1 回 (内 E-mail 会議 1 回)

2020 年 4 月より SIP 事業として開始した航空用ガスタービンに関する国内共同利用材料データベースの構築に向けたプロジェクトは、月 1 回のプロジェクト会議と素材関係、ブレード材、ディスク材など担当ごとの会議により推進し本年度終了した。また、本プロジェクトの後続プロジェクトである「航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業」は NEDO 事業として 2021 年 5 月より開始し、参加各機関で 2 種類の材料の材料試験を実施中。プロジェクトの進捗状況についてはメールにて情報共有するとともに意見交換を行った。

(19) 将来ビジョン検討委員会

委員長 高橋 徹 他 9 名 開催 0 回

実施なし。

(20) 男女共同参画推進委員会

委員長 森川 朋子 他 5 名 開催 4 回

女性技術者のネットワークの促進および女子学生を含む学生を対象としたガスタービン業界の業務や働き方を紹介するイベントの実施を行った。

(21) エキスパート委員会

委員長 船崎 健一 他 3 名 開催 1 回

高校生及び大学 1、2 年生までを読者層として想定して 2021 年度末に脱稿したガスタービン入門書については、技術普及委員会での議論の結果、内容的にはやや難しくかつボリュームもかなりあるので、もう少し平易な内容とボリュームを抑えたものにすることが要望として本委員会に伝えられた。次年度早めに関連の作業に着手するとともに、先の原稿の活用方法を改めて検討することとした。また、当該入門書作成を活用した初心者向けの講演会、模擬授業など、シニア会員を主たる講師としたイベントの展開などを改めて検討していくことを予定している。

(22) 創立 50 周年記念事業実行委員会

委員長 渡辺 紀徳 他 9 名 開催 5 回

学会創立 50 周年事業の企画・運営を行った。8 項目の事業それぞれの担当委員が関連委員会との連携の下で実施を担当した。2022 年 11 月 8 日には東京大学武田ホールにて記念式典・講演会をハイブリッド形式で実施した。記念式典では功労賞表彰と永年賛助会員への感謝状贈呈を行った。学会誌編集委員会と連携し、学会誌 2022 年 1 月号から 2023 年 3 月号まで表紙に記念ロゴを掲載するとともに、2023 年 1 月号および 3 月号を 50 周年記念特集号として発行した。また、技術普及委員会との協力により「ガスタービン工学」を改訂し、第 2 版として出版する準備を整えた。更に若年者向けのガスタービン技術のパンフレットを作成する準備を進めた。一方、学会ホームページへの掲載を目指して学会 50 年史の調査編集作業を行った。

(23) IGTC2023 実行委員会

委員長 太田有 他 12 名 開催 4 回

2023 年 11 月 26 日(日)-30 日(木)に京都国際会館にて開催する予定の IGTC2023 のために本委員会を立ち上げた。総務でとりまとめた全体スケジュールにもとづいて、論文、展示、行事、財務について検討を進め、プレナリ講演者、展示概要、行事予定、財務計画を作成した。講演会ホームページの開設、Extended Abstract および展示の申込受付を開始した。